

# 令和7年度 学校関係者評価委員会 評価表

評価基準 **4** : 重点目標が十分達成できている      **3** : 重点目標がおおむね達成できている  
**2** : 重点目標があまり達成できていない      **1** : 重点目標がほとんど達成できていない

項目	重点目標	自己評価（学校）		改善策	学校関係者評価	
		達成状況	4段階評価		4段階評価	ご意見
1 学校生活・生活指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校での生活を楽しく過ごす。</li> <li>学校や学級で、いじめもなく友だちと仲よく過ごす。</li> <li>場に応じて、聞こえる挨拶をする。</li> <li>遅刻をしないなど時間を守って生活する。</li> <li>自転車で登校するときはヘルメットをかぶる。</li> <li>先生は困ったことや悩んでいることの相談にのる。</li> <li>予鈴着席、私語をしないなどの規律ある授業ができる。</li> <li>提出物を忘れずに出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の項目「先生は困ったことや悩んでいることの相談にのってくれる」で、昨年度末は77.8%であったが、今年度末の調査では82.8%に上昇した。今年度は、「あてはまる」と回答する生徒が80%以上になることを目標としていたため、一定の成果が得られたといえる。この状況に満足することなく、これまでの生徒との関わりを振り返り、より添った助言や指導に努めていきたい。</li> <li>「場に応じて、聞こえる挨拶をする。」の項目では、90.0%と高い数値であったが、教師の回答は、65.8%と大きな乖離が見られる。あらゆる場面であいさつの指導を行い、自らの意思で聞こえる挨拶ができるようにしていきたい。</li> <li>予鈴着席は概ねできているが、集中力に欠け、私語が多い場面も見受けられた。どの教科においても授業規律の定着を図りたい。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>常日頃から生徒との対話を欠かさず、生徒の悩みを聞き取れるようにする。</li> <li>生徒の様子が気になる際には、家庭連絡をして情報交換を行い、生徒への関わりについて協力を得る。</li> <li>いじめを未然に防ぐことを基本としながら、いじめに該当する事案が発生した場合は必要に応じて警察等の関係機関と連携して指導にあたる。</li> <li>日常生活のあらゆる場面で挨拶の意義について説明し、粘り強く指導する。</li> <li>各教科の授業では、生徒が自ら進んで取り組めるように教材を工夫するとともに、教職員は、自分の指導を省察し、要点を絞った分かりやすく端的な説明ができるようにする。</li> </ul>	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての項目で前年度より上昇というのが素晴らしい。</li> <li>昨年度下がっていた6・7・8の項目が上がっているのが嬉しい。</li> <li>最近の生徒は優しくおとなしい印象があり、これは感情のコントロールが出来ているからなのではないでしょうか。学校や家庭等が生徒に寄り添った指導を意識した効果だと感じます。</li> <li>卒業式の映像にあった生徒たちの笑顔が可愛らしく、学校生活が楽しく過ごせていたことが伺えました。</li> </ul>

項目	重点目標	自己評価（学校）		改善策	学校関係者評価		
		達成状況	4段階評価		4段階評価	ご意見	
2	学力・学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えや意見を伝える力など、表現できる力をつける。</li> <li>授業の内容を理解する。</li> <li>毎日、家庭学習をする。</li> <li>朝読書以外にも読書をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度調査と比べて肯定的意見が増えているが、保護者や教師は、授業の習熟度や家庭学習の取組に課題意識を持っていることがわかる。生徒の主体的に学習に取り組む態度が向上するよう授業改善へ取り組んでいく。また、個別指導が必要な生徒に対する丁寧な指導の在り方についても研修を積むなどして教職員間で共有するとともに、キュビナ（AI教材）を含む家庭学習の在り方についても生徒の実態に応じて課題を提示できるようにした。</li> <li>読書に関する数値は依然低い状況である。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>「個に応じた指導」を充実させるために、生徒の習熟度に合わせた少人数指導を実施したり、AI教材と紙媒体の課題を併用したりしながら、個別最適な学びの実現を目指す。</li> <li>タブレットを使用したcoaching型授業の実戦を継続、進化させていく。</li> <li>従来の家庭学習強化期間を伸ばしたり、教師だけではなく、保護者のチェック機能を充実させたりする。</li> <li>図書委員会の活動を充実させるなどして、読書の魅力を生徒から発信できるようにする。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>AI × STEAM 学び創造事業における教科横断的な学びを実施するのは難しいと思います。</li> <li>リユース図書の実現を願っています。</li> <li>学習が苦手な人への宿題の出し方や指導方法などを考えた方がよいと思います。</li> <li>タブレットを使った授業のメリットはたくさんあると理解していますが、タブレットになじめない生徒への対応は大変ではないのか気になりました。</li> </ul>
3	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の夢や希望の実現に向けて考えている。</li> <li>自分の良いところを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どちらの項目も昨年度より肯定的な意見が増加し、「自分には良いところがある」では、82.4%であった。自分自身に目を向け、自分の強みを認めることができていることがわかる。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の生活が自己形成につながり、身につけた力が未来を切り拓くという考えのもとに、キャリア教育・進路指導の充実を図るようにしていく。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>入試の面接練習でも自分の強みを理解した回答ができていたように思います。</li> </ul>
4	道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会のルールを守って生活する。</li> <li>自分が大切な存在であることを知る。</li> <li>「とことん続ける目標」で、自信につなげる。</li> <li>道徳の時間に積極的に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度より肯定的な意見がすべての項目で増加している。とりわけ、「自分が大切な存在であると思っている。」の設問では、昨年度の61.9%から75.7%に回復した。生徒の自己肯定感や自尊心の高まりに一定の手応えを得ることができたが、現状に満足することなく、道徳教育の充実をより一層図る必要がある。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳の授業はもちろんのこと、日々の学校生活では教職員が生徒の道徳心を高める指導ができるように努力していく。教職員自身が自らの指導を省察し、「生徒が腑に落ちる指導」、「生徒の心に響く指導」ができるよう、校内では、研修を積極的に行う。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会のルールはなぜ必要か、時として守らない人がいるのはなぜかをもう一度考えてほしいです。</li> <li>「自分が大切な存在である」のポイントアップは、先生方のきめ細やかな対応の結果だと感じます。</li> </ul>

項目	重点目標	自己評価（学校）		改善策	学校関係者評価		
		達成状況	4段階評価		4段階評価	ご意見	
5	特別活動 総合学習 部活	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会活動や部活動に自主的・積極的に取り組む。</li> <li>部活動ガイドラインを守り、活動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度と同様に教職員が概ね達成できていると考える一方で保護者の肯定的意見が低下している。この現状から、十分な指導ができていないと考える必要がある。</li> </ul>	2	<p>生徒の主体性を育てるため、「学校生活のルール」を生徒会を中心に改定し、生徒会の各委員会で学校生活の見直しに関する活動を提案できるようにする。部活動では、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」に則った活動が徹底できるよう、管理職から指導及び助言を行う。</p>	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校生活での部活動はこれからの人生の大きな自信につながる事があります。大変ですが大切にしてもらいたいです</li> <li>ルールを守ることができないのは、ルールには全て意味があるということを考えないからだと思います。1つのルールの意味を知り考えさせることで改善すると実感しています。</li> <li>吹奏楽部の卒業式での演奏は素敵でした。面接練習では、大会で金賞とるまでに頑張ったことを自信につなげて答えてくれた生徒が何人かいました。部活動の学びは大きいと思います。</li> </ul>
6	安全教育 環境教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故、不審者、災害等から身を守る方法を知る。</li> <li>学校の施設・設備を安全にする。</li> <li>時間いっぱい清掃に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学校の施設・設備は安全である」の項目における肯定的な回答が、生徒・保護者・教師ともに低下している。校内の施設・設備は十分とは言えない。</li> <li>清掃活動についても熱心に取り組む生徒とそうでない生徒がおり、十分な指導ができていないと考えられる</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練は、事前指導を十分に行うことで、実際を想定した取組にしていく。</li> <li>教職員における定期的な校内の施設点検を実施したり、教育委員会と連携しながら老朽化した施設の安全確保に努めたりする。生徒や保護者には不安にならないよう折を見て状況説明を行っていく。</li> <li>掃除用具の点検を行うとともに、清掃活動の意義を伝えた指導を徹底する。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の老朽化等、不安な点が多くあり、より安全な施設での教育を望みます。</li> <li>施設は安全であるのポイントが下がったことは、それだけ安全性に関心があるのだと思います。</li> </ul>

項目	重点目標	自己評価（学校）		改善策	学校関係者評価	
		達成状況	4段階評価		4段階評価	ご意見
7 人権教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や先生は子供同士のトラブルや悩みなどに素早く対応する。</li> <li>いじめや差別のない楽しい学級や仲間をつくらうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の項目「学校や先生は子供同士のトラブルや悩みなどに素早く対応してくれる」の肯定的な意見は、昨年度の76.5%から87.3%に増加した。また「いじめや差別のない学校づくりをしている」の肯定的な意見は、昨年度と比べ生徒・保護者ともに肯定的な意見が増加している。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ等の生徒間におけるトラブルについては、ケース会議を定期的実施するなどして、対応方法についての研修をさらに増やしていきたい。また、「いじめ防止対策推進法」や「生徒指導提要」に基づいた適切な指導が行われるように管理職からも指導や助言を行っていく。</li> </ul>	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒との信頼関係ができているからこそ80%を超えている。素晴らしい。卒業式で、卒業生が歌っていた合唱も素敵でした。良い学校になってきたんだと感じました。</li> </ul>
8 学校行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事や講演会を、楽しく、充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒、保護者ともに概ね満足できている状況といえる。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>P T A活動とも連携させながら、保護者と一緒にできる活動を積極的に取り入れていく。</li> <li>講演会等は保護者も参加・研修できるように計画する。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒さんの思い出に残る楽しい行事を続けてください。</li> </ul>

項目	重点目標	自己評価（学校）		改善策	学校関係者評価	
		達成状況	4段階評価		4段階評価	ご意見
9 学校公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の教育方針や教育活動のねらいを理解する。</li> <li>地域の行事に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「保護者は、学校の方針や教育活動のねらいを理解している」の肯定的な意見は、昨年度の68.1%から78.3%に増加している。</li> <li>「地域の行事に参加している」の</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>P T A活動や行事の機会、学年や学級からの通信等で方針やねらい示すだけでなく、必要に応じて個別に説明するなど、保護者の立</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>板野高校が年度のまとめとして3月に出前授業を行うこととしています。板野中学校でも実施ができればと考えます。</li> <li>「すぐーる」の導入により、</li> </ul>

<p>情報公開 地域家庭連</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校は授業参観や学校行事などを積極的に公開する。</li> <li>・学校からの便りを保護者にわたす。</li> </ul>	<p>回答では肯定的意見が数年間20%～30%にとどまっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事の公開や保護者の連絡に関する項目では昨年度より肯定的な意見がふえている。</li> </ul>	<p>3</p>	<p>場に立った発信に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度から導入した連絡システム「すぐーる」により、文書等の発信はもとより、アンケートや行事等への出欠についても活用することで、合理的かつ確実な情報発信に努める。</li> <li>・「とことん続ける目標」を保護者に知ってもらう。</li> </ul>	<p>3.2</p>	<p>子どもの伝え忘れによる困りごとが減り、返信が必要な時には素早く対応できるため助かっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や家庭を含め、まだまだ板野中学校の良さを理解できてないのではと思っています。自信を持って地域との交流を進めて欲しいです。</li> </ul>
-----------------------	--	--	----------	---	------------	---